

公表 事業所における自己評価総括表

○事業所名	ウィズ・ユークanau		
○保護者評価実施期間	2026年2月13日		～ 2026年2月20日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	41名	(回答者数) 31名
○従業者評価実施期間	2026年 2月 9日		～ 2026年2月11日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	5名	(回答者数) 5名
○事業者向け自己評価表作成日	2026年 2月 12日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	ICTツール活用による情報共有	保護者との連絡や情報共有に「HUG」や「LINE」等を使用している。	蓄積された日々の記録データを活用し、長期的な成長推移を可視化するなど保護者様へのフィードバックの質を更に向上させる。
2	メリハリのある空間作り	学習スペースと養護スペースを分け、児童が活用内容に応じて気持ちの切り替えをしやすい環境を整えている。クールダウン室の設備など突発的なトラブルにも対応可能。	クールダウン室等に、センサーグッズを導入し、情緒安定のための支援の選択肢を増やす。
3	朝礼での密な情報共有	毎朝朝礼を実施して、対応する児童の送迎の確認を行っている。申し送りやアレルギー等の注意点の共有に加え、プチ研修を行い日々支援の質を高められるよう努めている。	日々の申し送りに加え、対応が困難な事例について深く掘り下げる「事例検討回」を開催し、チーム全体の支援スキルを底上げする。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	バリアフリー化	建物の構造上の制約があり、児童の受け入れ拡大に伴う設備ができていない。	スロープの導入を引き続き検討する等、バリアフリー化に努める。
2	シフト制により、業務終了後の振り返りが難しい	勤務時間がそれぞれ異なるため、全員での打ち合わせが難しい。	朝礼での申し送り事項を増やし、前日の支援での不安事項を全職員に共有できるように努める。
3	視覚的構造化	視覚的情報に働きかける支援ツールが不足している。	視覚シンボルなどを使用したスケジュール表を作成するなど、情報の可視化に努める。

公表 保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名	ウィズ・ユークナウ					公表日	2026年2月25日			
						利用 児童数	41名	回収数	31名	
	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応			
環境・ 体制 整備	1	こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	25	4		2				
	2	職員の配置数は適切であると思いますか。	21	4		6		必要に応じて適切な人員を配置して支援している。安心していただけるように提示できればと思う。		
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	23	3		5		生活空間は、当日の利用者に応じ、工夫をして対応を引き続きしていく。		
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間になっていると思いますか。	27	2		2				
適切 な 支 援 の 提 供	5	こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	28	2		1	子ども本人に合った対応をして下さっていると思います。理解していただけない方もいらっしゃると思います。本人に合わせた対応を考えてくださり感謝しています。	日頃から、コミュニケーションをとり、児童の様子の違いなど見逃さないように支援に努めます。		
	6	事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	31							
	7	こどものことを十分に理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	29	1		1				
	8	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	29	1		1				
	9	放課後等デイサービス計画に沿った支援が行われていると思いますか。	29			2				
	10	事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	25	1		5		季節や年間行事を行い、日本の伝統を学んだり四季の移り変わりを感じられる様、その都度イベントを工夫をしていく。		
	11	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会がありますか。	11	3		17		施設単位では出来ていないが、グループとしてキッチンカーを招いたり子ども食堂を実施。		
保 護 者 へ の 説 明 等	12	事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	30			1				
	13	「放課後等デイサービス計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	28		1	2				
	14	事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	21	2	1	7	私自身は仕事などで参加はできていませんが過去に開催されていたと思います。	保護者の皆さんが参加しやすいよう日程を調節市開催を検討する。		
	15	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達の状況について共通理解ができていますか。	29	1		1	少しの変化でも連絡くださったりこちらの連絡にも丁寧に対応してくださっていると思います。	送迎時や連絡ツールを使い日頃からコミュニケーションを取り、支援につなげていく。		
	16	定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	29		1	1				
	17	事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	30	1						
18	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいの支援がされていますか。	19	2		10		グループ全体で定期的に子ども食堂を開いたり、キッチンカーイベントや保護者向けの進路説明会なども積極的にに行い、保護者の不安や、きょうだい児への対応など様々なニーズに応じていくよう務めている。			

	19	子どもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	30			1		
	20	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	30	1				
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されていますか。	29			2		
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	29			2		
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	21	1		9		委員会を定期的に行い、マニュアルや施設に常備していることを保護者にフィードバックしていく。
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	17	1		13		訓練は実施しているが、ご家庭への説明が不十分であった。
	25	事業所より、子どもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	23	1		7		環境を定期的に見直し、利用者に応じて改善していている。
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	26	2		3		
満足度	27	子どもは安心感をもって通所していますか。	29	2			苦手な先生がいる。	職員の児童への対応をしっかり学び、安心して通ってもらえるよう改善する。
	28	子どもは通所を楽しみにしていますか。	27	4			とても楽しみにしています。	より楽しんで通えるよう、イベントやプログラム、職員教育を徹底していく。
	29	事業所の支援に満足していますか。	30	1				

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		ウイズ・ユークanau		公表日		2026年2月25日	
		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	<input type="radio"/>		学習と養護さんのスペースを分けていること。		
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	<input type="radio"/>				
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。		<input type="radio"/>			玄関の前がスロープになっていない。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。		<input type="radio"/>			療育に必要なテーブルや補助椅子が足りていない。
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	<input type="radio"/>				クールダウン室を設けている。
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	<input type="radio"/>				朝礼で話し合っている。
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	<input type="radio"/>				年一回実施している。
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	<input type="radio"/>				朝礼で情報共有できている。
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。		<input type="radio"/>			
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	<input type="radio"/>				必要に応じて開催している。
	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	<input type="radio"/>				ホームページの公表している。
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	<input type="radio"/>				
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	<input type="radio"/>				
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	<input type="radio"/>				職員間で共有できている。
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	<input type="radio"/>				行動記録による確認している。

適切な支援の提供	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	○			
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	○			
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	○			
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ、放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	○			
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	○			
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	○			シフト制のため、勤務時間が違うためできていない。
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	○			
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	○			半年に一回行っている。
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ、支援を行っているか。	○			
	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	○			
関係機関や保護者との連携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	○			ケース会議などに参加している。
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	○			
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	○			送迎時に確認や電話を行っている。
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	○			たんぼぼさんなどを例に行っている。
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	○			
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	○			
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	○			
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	○			担当者おり、参加している。
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	○			送迎時とLINE,HUGでお伝えしている。

	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	○		保護者会でやっている。	
保護者への説明等	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	○		契約時に説明している。	
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、子どもや保護者の意思の尊重、子どもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、子どもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	○		アセスメントを取っている。	
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	○		いつでも見れる状態になっている。	
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	○		送迎時とLINE,HUGでお伝えしている。	
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	○		グループ全体でイベントがある。	
	41	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	○		管理者が対応している。	
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。	○		HUGで確認できるようになっている。	
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	○			
	44	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	○		HUG、LINE、紙媒体で対応している。	
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	○		グループ全体で子ども食堂を開催している。	
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	○			
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	○			
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認しているか。	○		契約時に確認している。	
	49	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	○		契約時に確認している。	
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	○		職員研修を行い、安全に配慮した支援を行っている。	
	51	子どもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	○			
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	○			
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	○			

54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	○			
----	---	---	--	--	--